

## 眼科学

責任者・コーディネーター	眼科学講座 黒坂 大次郎 教授		
担当講座・学科(分野)	眼科学講座		
担当教員	黒坂 大次郎 教授、町田 繁樹 准教授、吉田 憲史 非常勤講師、木村桂 講師、菅原 剛 助教、小林 貴樹 非常勤講師、後藤 恭孝 助教、金子 宗義 講師、藤原 貴光 講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 19.5 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

視機能の回復、改善、維持および失明の予防を最大の目的とする。視器および視覚系、眼付属器の構造と機能の理解し、疾患病態を把握して診断・治療を行い、形態と機能の修復を果たし、より良い視覚の質（Quality of Vision）を提供する。このための知識と技能の体系である。

### ・一般目標（GIO）

視覚の生理学および視覚の異常、視覚障害や失明につながる視覚器あるいは視覚器を支える眼付属器の疾患の理解と、それらの適切な診断、治療の考え方について修得する。

### ・到達目標（SB0）

1. 視器の発生の過程について説明できる。
2. 視覚の成立機序について、角膜から網膜まで、さらに視路と視中枢のレベルまでを説明できる。
3. 眼科診察の手順と主要な検査を述べるができる。
4. 眼瞼、結膜、涙器の解剖と生理およびその病態と治療について説明できる。
5. 眼球運動の神経機構およびその異常と原因について説明できる。
6. 両眼視の神経機構および弱視・斜視の異常と治療について述べるができる。
7. 瞬目、涙液分泌、瞳孔反応の神経機構、主な異常とその原因について説明できる。
8. 角膜、水晶体、虹彩、毛様体の解剖と生理、主な異常とその治療について説明できる。
9. 硝子体・網膜・脈絡膜の解剖と生理、主な疾患とその治療について説明できる。
10. 緑内障の病態を理解し、その種類を列挙し、診断と治療について説明できる。

11. 視神経・視路と視野の異常およびその病巣の部位診断について説明できる。
12. 眼窩の病変、眼外傷、救急疾患の主要なものを列挙し、診断と対処法について説明できる。
13. 全身性疾患と視覚器の異常との関連性を説明できる。
14. ロービジョンおよび視覚障害者のリハビリテーションについて理解し、正しい概念を述べることができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/2	月	3	眼科学講座	黒坂 大次郎 教授	眼科入門、斜視・水晶体
4/2	月	4	眼科学講座	黒坂 大次郎 教授	斜視・水晶体
4/9	月	3	眼科学講座	町田 繁樹 准教授	視機能
4/9	月	4	眼科学講座	町田 繁樹 准教授	網膜疾患
4/16	月	3	眼科学講座	木村 桂 講師	結膜
4/16	月	4	眼科学講座	木村 桂 講師	角膜
4/23	月	3	眼科学講座	菅原 剛 助教	神経眼科
4/23	月	4	眼科学講座	小林 貴樹 非常勤講師	糖尿病・網膜剥離
5/7	月	3	眼科学講座	後藤 恭孝 助教	緑内障・全身疾患
5/7	月	4	眼科学講座	菅原 剛 助教	神経眼科
5/14	月	3	眼科学講座	金子 宗義 講師	眼窩・涙器
5/14	月	4	眼科学講座	藤原 貴光 講師	ぶどう膜

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/21	月	3	眼科学講座	小林 貴樹 非常勤講師	糖尿病・網膜剥離

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	図解眼科	吉村長久 他	金芳堂	2008

・成績評価方法

試験の成績および出席回数で評価する。  
成績の評価は100点満点とし、その平均が60点以上の者を合格とする。  
試験は定期試験と追試験または再試験の2回のみとし、再度の試験は行わない。

・特記事項・その他

斜視・水晶体	2回
網膜疾患・視機能	2回
角膜・結膜	2回
神経	2回
糖尿病・網膜剥離	2回
緑内障・全身疾患	1回
眼窩・涙器	1回
ぶどう膜	1回

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			